

花だより

社会福祉法人 花

生活介護 でい工房花はな
 共同生活援助 ホーム花 (桜の家・風の家)
 短期入所 ショートさくら
 〒259-1201 神奈川県平塚市南金目346-1
 TEL. 0463-50-3080
 FAX. 0463-58-8798

発行人 村上 結
 http : //www.hiratsuka-hana.or.jp/



ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルにて

小さくともゆたかな宇宙(時空)

花

理事長 村上 結

ひとを賢くするのは、
 他人ごとをいかに
 自分ごととして
 置きかえられるか
 どうかの能力に
 かかっている…
 「明日死ぬかも
 しない自分、
 やしてあなただち」

(幻冬舎) 山田詠美より

■奇跡(奇跡は毎日…)

冒頭に山田詠美さんの本のタイトルをあげてみたら、改めてインディアン哲学(「イーグルに訊け」飛鳥新書)にある、次の言葉を思い出しました。「奇跡は毎日起きています。まず、朝起きると生きていること、家族や友だちも起きてきてまた会えること、今日一日仕事のできること…。それは、昨日に続く今日は決してあたり前ではなく奇跡なのだと教えます。家族や友だちに会える時間、仕事のできる時間、今日という、いまこの時間を与えられたことに感謝して新しい1日をスタートできたらと思います。

そんな日々の生活を心がけている時は、ささやかでも心になうもの一つひとつにひかりをあて、お互いの「うれしい」や「ありがとう」の言葉を忘れずにいることができます。天気がよいと言っては感謝し、今日の糧(食べもの)が美味しいと言っては感謝し、やさしい雨が降ったと言ってはまた感謝する。そこに、いつも誰かの話し声が聞こえ、笑顔、そして時々泣き顔も散見される。小さくとも花が、そんなゆたかな宇宙であるように願い仕事をしています。

■かけがえのない「わたし」

■無数のかけがえのない…

社会福祉法人花としての活動、いや、どのような社会活動も集団による協働作業です。そして、それぞれの集団の一人ひとりには誰もが、かけがえのない「わたし」です。当然、花もかけがえのない「わたし」が集まることで成り立っています。さらに、世の中には無数のかけがえのない「わたし」がいます。こ

れは当たり前のことですが、時折それを忘れてる自分に、また強く意識して過ぎて身動きのとれない案山子のような自分に、気づくことがあります。

かけがえのない利用者お一人おひとりの人生に、向き合い寄り添う花の職員として、職員同士もまた、お互いにかかけがえのない一人ひとりであることを忘れずにいたいと思います。

■有機的関連(幸福は自分ひとり…)

朝の支度や送迎から始まる花の1日に、モジュール(単体)として存在するものはなく、すべてが有機的に関連し合っています。つまり、経験豊富で、能力の高い存在であっても一人でできるものはないのです。花の職員一人ひとりの支え合い、お互いに連携する姿勢を大切にしたいと思っております。

花という居場所、花というつながりを大切に、花を支えようと日々取り組む、わたしたち職員こそが、実は利用者お一人おひとりの、否、花にかかわる全ての方々の笑顔や話し声、そして労いの言葉に支えられて生きています。幸福は自分ひとりで完結することなく、あまねく有機的に関連しているものだから。

【連携とは】

- 自分の弱さを認め、互いに敬意をもち、協力して物事を行うこと
- 同じ目的に向かい、互いに助け合うために、自ら変わっていくこと